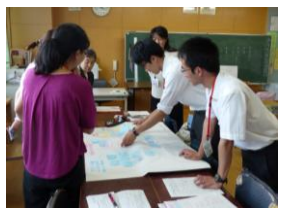
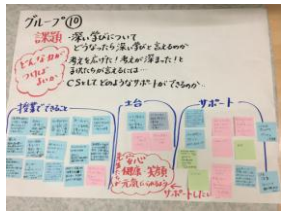


# 学園研 × CS 100人熟議



変化の激しい時代を生き抜く学園の子どもたちに、これからどんな力を、どのように付けていったら良いのだろうか？

～教員は新学習指導要領を踏まえての2年間の学園研究の成果と課題を生かしながら、CS委員はCS委員としての立場から、今年度できることを一緒にみつけよう～



5月16日（水）午後、毎年恒例となった学園研究会と合同での「100人熟議」を実施しました。三小・七小・四中の教員、CS委員、サポートネットの約100名が10分科会に分かれて、それぞれ学校・地域・保護者としての立場から熱く真剣に語り合いました。

まず「子どもたちに必要な力」については、「コミュニケーション能力や発信力」「自己肯定感」「心の体力」「国際性と多様性を理解すること」「危機に対応する力」「地域力」「生活力」「協調性」などのキーワードが出ました。

そこで「学校や地域ができること」として、「褒める場をたくさん作る」「先生方の笑顔、余裕ある対応」「あいさつは基本」「学校内及び地域とのコミュニケーションの充実化」「家庭と地域との連携」「教科横断的な学びの強化」「キャリア形成へのサポート」などのほか、各分科会ごとの多様な意見やアイデアが出ました。

文部科学省CSマイスター四柳千夏子さんからの講評にもありましたが、この日を今年度の第一歩として、先生と地域がそれぞれでできることを役割分担し、実践していきます。



## 今年度も「学園・学校評価アンケート」を実施します

評価担当

毎年10月下旬に「学園・学校評価アンケート」を実施しています。今年度、学園や学校、コミュニティ・スクール（CS）委員会で取り組んでいる教育活動について、保護者の皆様に評価していただくものです。みなさまのご意見をもとに、学園とCS委員会が協議し、次年度の教育活動が示されていきますので、大変重要なアンケートです。

日頃からお子さんと学習の内容や学校の様子をお話しになり、学園だより・学校だよりから情報を得つつ、学校行事・学校公開で子どもたちの様子をご覧いただき、その中で感じられたことをアンケートにお寄せいただければと思います。ご協力をお願いします。

